

## 6-26

「盛り上がらない……」は、  
むしろチャンス

「お、やるな」と思われる  
「視点チェンジ提案」

議論が低調のまま終わると、「全員落選」もありません。活発になる提案をしましょう。

「社員のモチベーションを上げるには？」というテーマが課されたら、通常は額面通り向上策を考えるはず。しかし正攻法で議論が膠着したなら、別のやり方を提案する。たとえば、

「いったん、あえて逆の、モチベーションが下がる原因を考えてみませんか？ その逆が向上につながるかもしれないので」

と、逆の視点から考えることを提案します。

視点を交える提案は、光ります。

議論を進めるきっかけになれば良いわけで、

その後の展開を気にせず気楽に言えるのがキモ。そのわりに評価者へのアピール度は絶大です。

彼らは毎日、同じお題での多数のGDを見ていますから、このような斬新な発想、展開ができれば、注目すること必至です。

なお、発言が苦手な人ばかりのグループで自分だけ長々と話すと、「スタンドプレー好きの間」と映る危険性があります。そのため、

「皆さんはどう思いますか？」

と振ったり、他の人の発言に、

「それ、良いですね！」

と持ち上げたり、

「それ、もう少し詳しく教えてください」

と、引き出すなどして皆を巻き込みながら、少しでも議論を盛り上げるようにしてください。

## 6-27

「クラッシャー出現！」が  
チャンスに変わる一言

1対1は避け、  
「みんな迷惑してる」を伝える

クラッシャー行為を抑制できないと、理不尽なことですが、「全員落選」があります。これがGDの現実です。対応が必要です。

といっても、時間内に自覚・悔悟させるのは無理。焦点を「周りと結託して暴走させない」に当てましょう。これが最善策です。

クラッシャー行為があったら、まず周りを見渡します。同じ想いを持つ人が必ずいます。表情、所作を見れば、あるいはアイコンタクトで確認できます。他の人の話を遮るなら、  
「倉下さん、まだ山岡さんの話の途中です。最後まで聞きましょう」

と論じ、「ですよね？」と周りに視線を配る。他人の意見に批判ばかりするなら、

「では、倉下さんはどう思う考えですか？」

と、当人に振ります。

自分の主張を繰り返すなら、

「いまA案と、倉下さんが度々情熱的に推すB案があります。皆さんはどう思いますか？」

と、他と比較する形で全員に投げかけます。

自分ではなく他の人がクラッシャー行為を注意したら、「我関せず」はNG。

「私も、そう思います」「私も、賛成です」

と、しつかりバックアップします。

1対1で対峙すると、悪化しかねません。なにせ相手はクラッシャーですから。周りを巻き込みながら連携して対処することが肝要です。